

石川県における がん登録

ダイジェスト版

【平成17年標準集計・平成13年罹患者生存率集計】

平成21年3月

石 川 県

はじめに

平成3年から石川県が実施主体となって、社団法人石川県医師会、県内全医療施設および金沢市保健所の協力を得て実施している「石川県地域がん情報管理事業(がん登録事業)」は18年目をむかえました。

このダイジェスト版は、がん予防の観点から、県民や医療及び保健関係者(市町・保健所)に対し、情報をわかりやすく提供することを目的として、平成12年度から発行しているものです。

このダイジェスト版が、石川県民全体のがん予防の啓発や医療及び保健関係者の活動等に、大いに役立つことを願っております。

平成21年3月

石川県健康福祉部

ポイントを簡単に知りたい方のために

詳細はこちらのページ

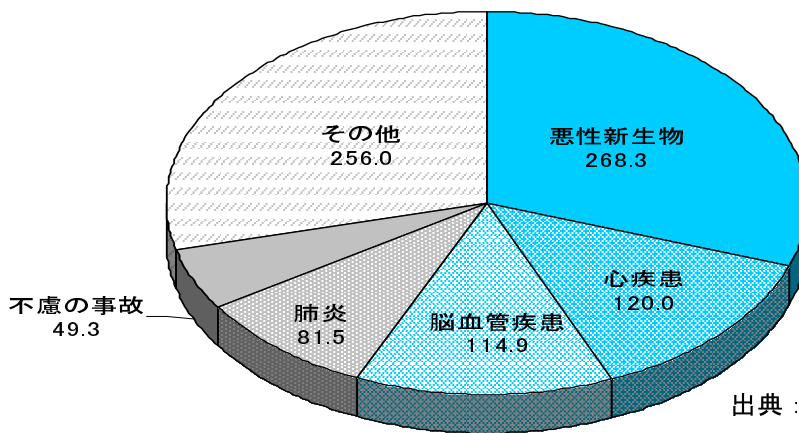
- がん登録はがん対策に重要です。 ……がん登録事業の目的 P1
- がん登録は行政・医療が協力して行っています。
……石川県がん登録の実施体制図 P2
- どの年代にどんながんにかかりやすいかご存じですか？
……年代別のがん罹患状況 P4
- 男性では「胃がん」「肺がん」が高くなっています。
女性では「胃がん」「乳がん」「大腸がん」が高くなっています。
……年齢調整罹患率と年齢調整死亡率の推移 P5
- がんにかかる人・亡くなる人が多い部位は全国とほぼ同じです。
……全国との比較 P7
- 早期に見つかりやすいがんは「胃がん」です。
……早期がんの割合 P9
- 男性女性とも「大腸がん」「胃がん」が比較的経過が良好です。
女性では「乳がん」「子宮がん」はさらによい経過を示しています。
……5年生存率 P10
- 検診でがんが見つかった人は、外来で見つかった場合と比較して高い生存率を示しています。
……検診群と外来群別5年生存率 P12
- 早期で見つければ生存率は8割以上です。
……進行度別の5年生存率 P13

がん登録事業の目的

悪性新生物（以下、一般に広く受け入れられている「がん」という名称を使います。）は、石川県の死亡原因の第1位を占めており、また増加の一途をたどっています。その対策を推進することは、県民の健康の保持・増進を図る上でとても大切です。そのためには「がん登録」によってがん罹患数（がんにかかった患者さんの数）等を的確に把握し、がん対策を検討・実施することが重要な課題なのです。

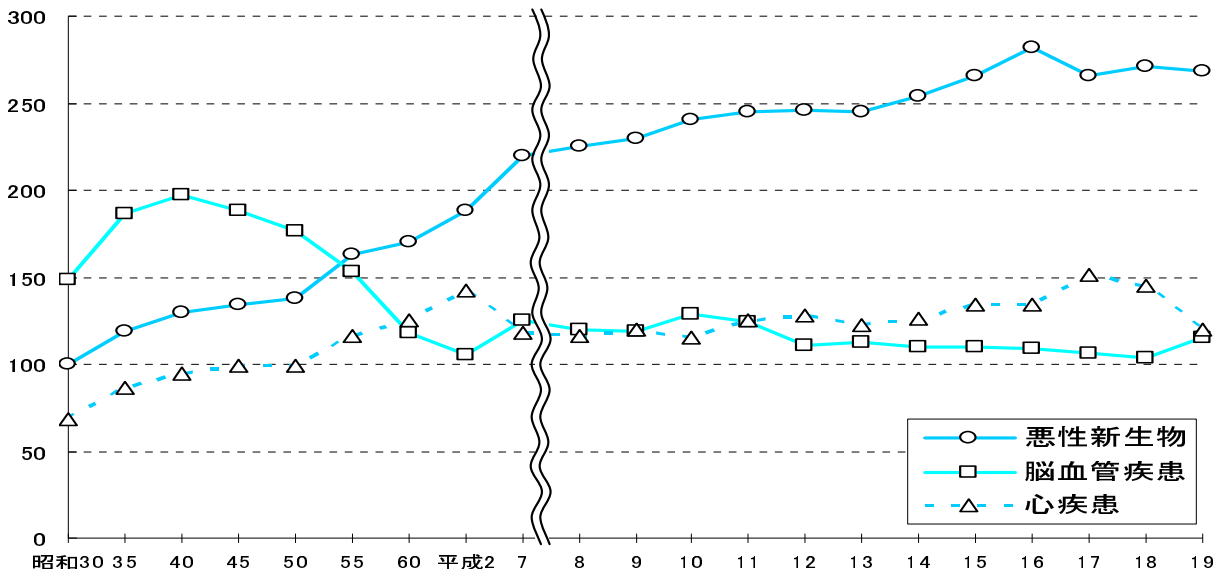
石川県地域がん情報管理事業では、がんについてその発病から治癒または、死亡に至るまでの全経過に関する医療情報を多方面から集め、個々のがんごとに集約し、これらの情報をがんの予防、医療活動に活用することを目的としています。

石川県の主要死因別死亡率(人口10万対)



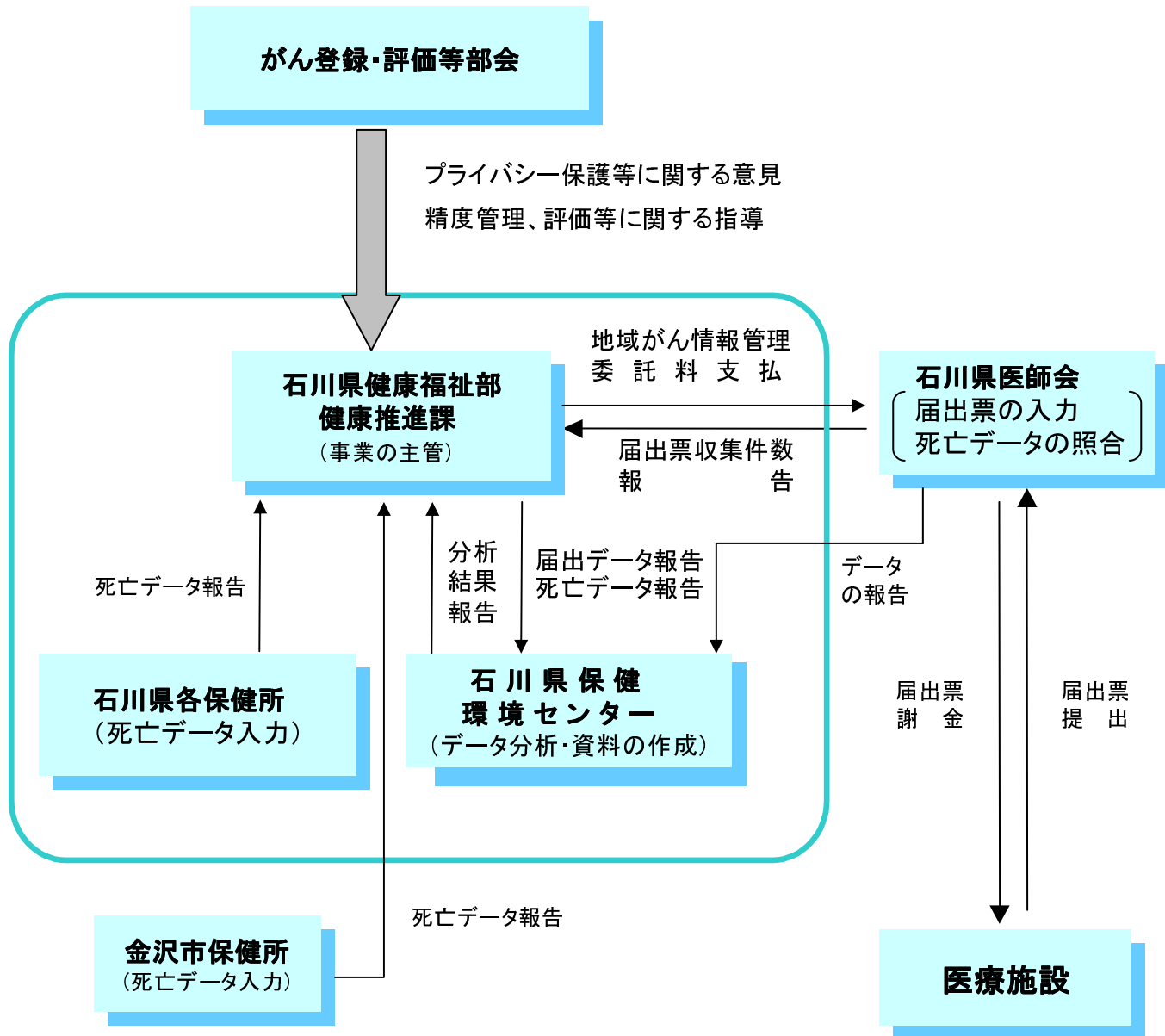
出典：衛生統計年報(平成19年)

石川県の死因別死亡率(人口10万対)の年次推移



出典：衛生統計年報(平成19年)

石川県がん登録の実施体制図



平成3年から石川県が実施主体となって、社団法人石川県医師会、県内全医療施設および金沢市保健所の協力を得て実施しています。

○ がん（悪性新生物）登録の対象者

石川県内に住み、医療施設において登録対象がん(悪性新生物)に罹患したと診断された者及びそれによる死亡者を対象としています。

・罹患患者の登録

県内の医療施設が、登録対象がんの患者を診断した場合に提出される「石川県悪性新生物届出票」(以下、「届出票」)を県医師会で収集し、その内容を入力します。

・死亡患者の登録

保健所で、人口動態調査死亡票(以下、「死亡票」)を収集し、その内容を入力します。

○ 対象となる がん（悪性新生物）

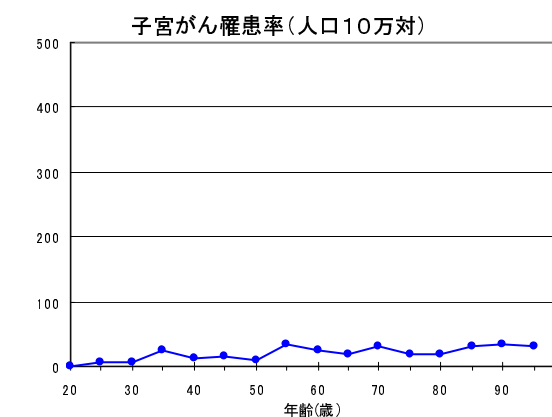
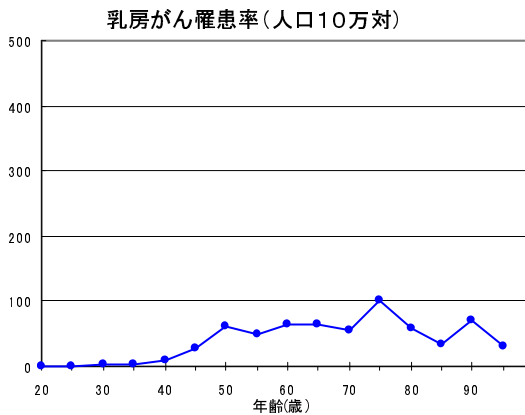
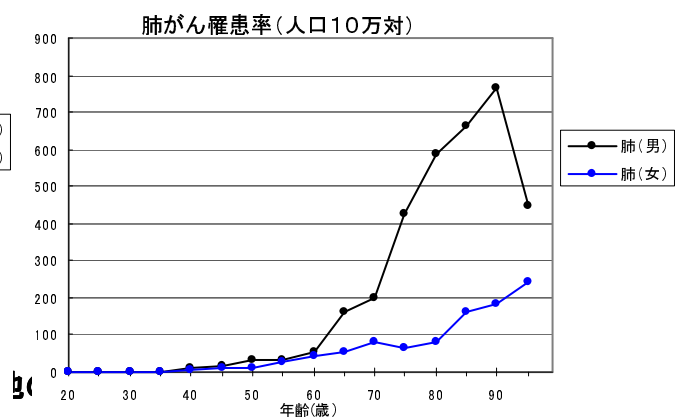
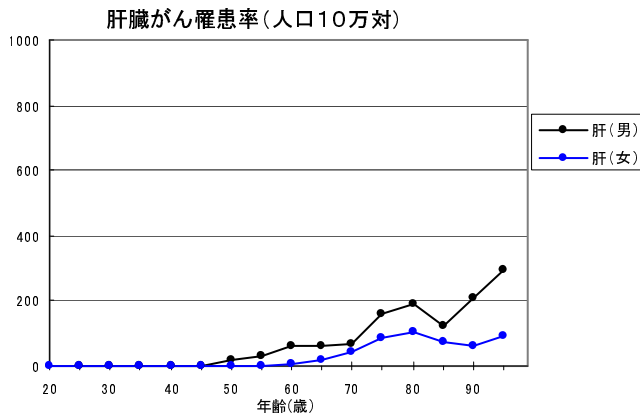
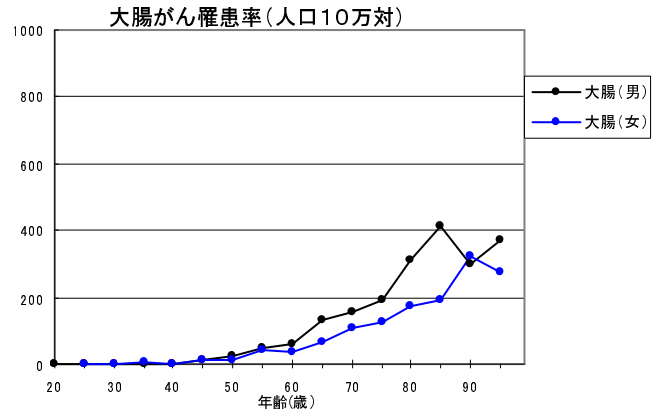
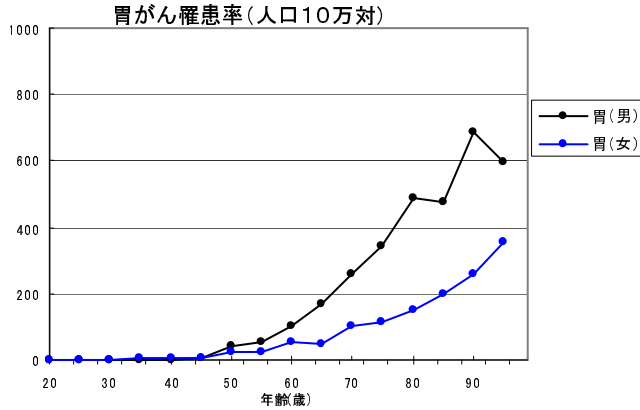
届出対象となるがん(悪性新生物)の範囲は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正(ICD-10)」のうち、原発部位が表1に記載した男性8部位、女性10部位(以下、「登録部位」という。)としています。

なお、当事業は、精度管理等の観点から男性8部位、女性10部位で開始しましたが、その罹患数合計は、全国推定罹患数(地域がん登録の精度向上と活用に関する研究)平成10年度報告書:主任研究者 大島 明)により試算すると、全部位の罹患数合計に対し、男性75.0%、女性82.0%を占めます。

表1 届出対象部位

国際基本分類 (ICD-10)	種 別
C16	胃の悪性新生物
C18	結腸の悪性新生物
C20、C19、C21	直腸、直腸S字結腸移行部及び肛門の悪性新生物
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物
C23、C24	胆のう〈嚢〉及び肝外胆管の悪性新生物
C25	膵の悪性新生物
C33、C34	気管、気管支及び肺の悪性新生物
C50(女)、D05(女)	女性乳房の悪性新生物
C55、C53、C54、D06	子宮の悪性新生物
C73	甲状腺の悪性新生物

年代別のがん罹患状況



出典: 石川県におけるがん登録(平成17年標準集計・平成13年罹患患者生存率集計)

男性も女性も、50歳代からがんの罹患率が上昇します。

また、胃がん、大腸がん、肝臓がん、肺がんではほぼいずれの年代でも、男性が女性の罹患率を上回っています。

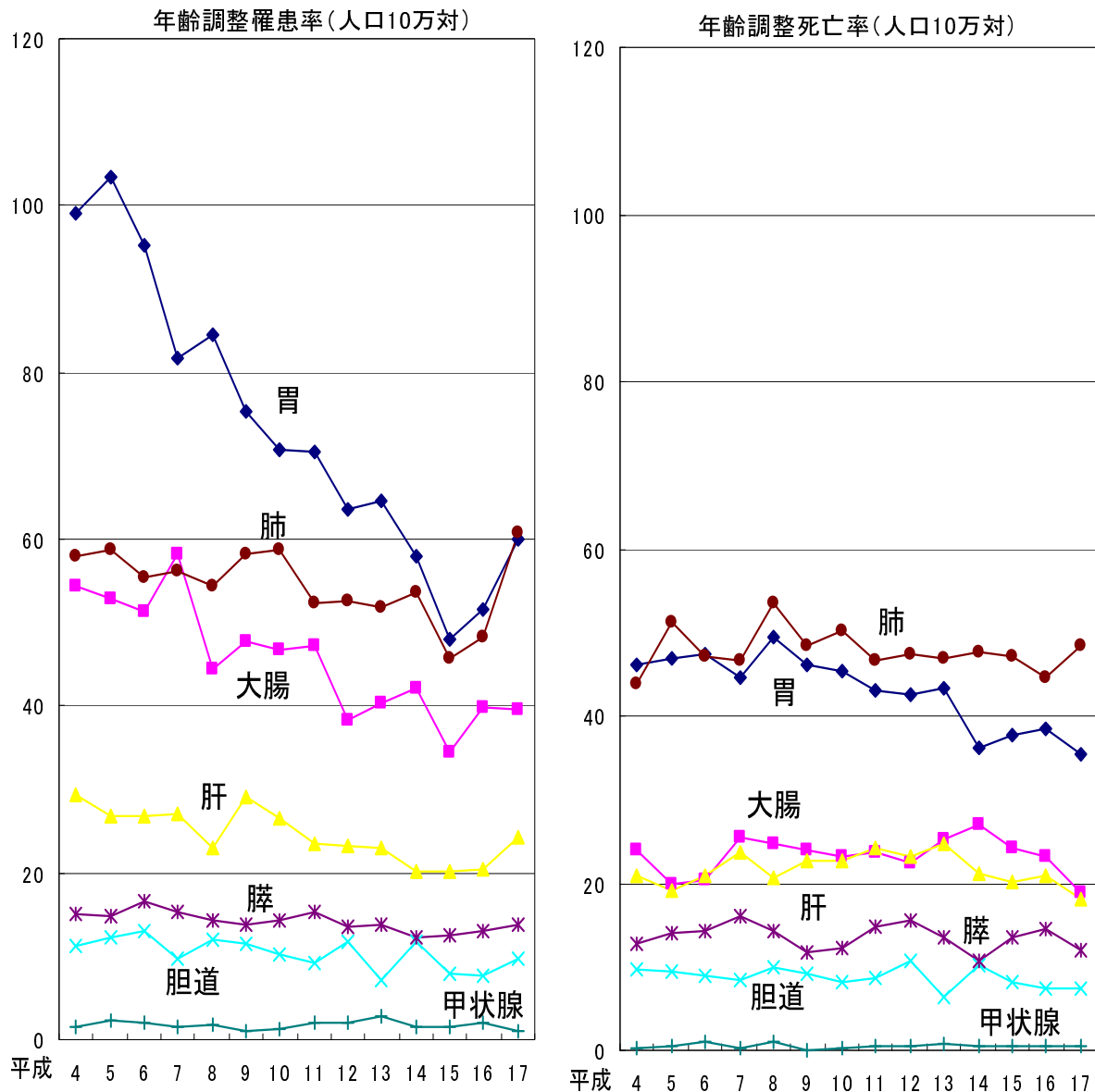
★ 罹患率とは？

ある観察集団で、ある観察期間内に、新たに病気にかかった患者さんが何人いたかを計算したものです。

これは、ある一定期間内に病気にかかる危険の大きさを示す指標になります。

人口10万対の罹患率の意味は、1年間に10万人を観察した場合の率のことをいいます。

年齢調整罹患率と年齢調整死亡率の推移(男)



出典: 石川県におけるがん登録(平成17年標準集計・平成13年罹患患者生存率集計)

男性の年齢調整罹患率*は胃がん、肺がんで高くなっています。

胃がん、肺がんの次は、大腸がん、肝がん、膵がんが続きます。

一方、年齢調整死亡率が最も高いがんは、肺がんであり、次に胃がん、大腸がん、肝がんが続きます。

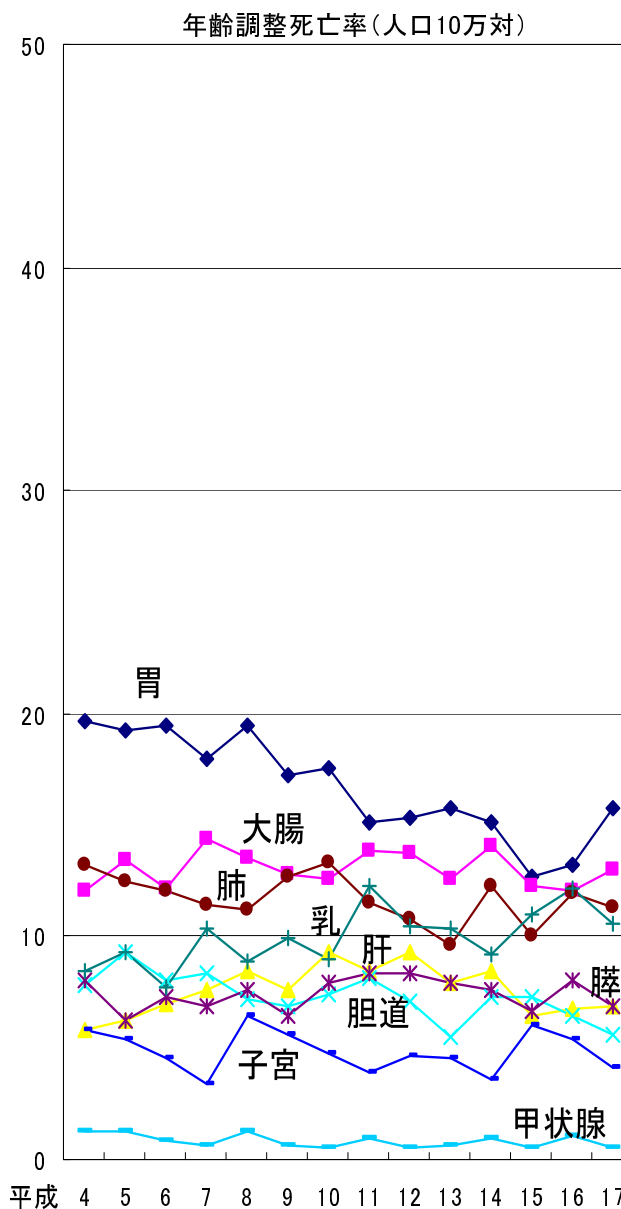
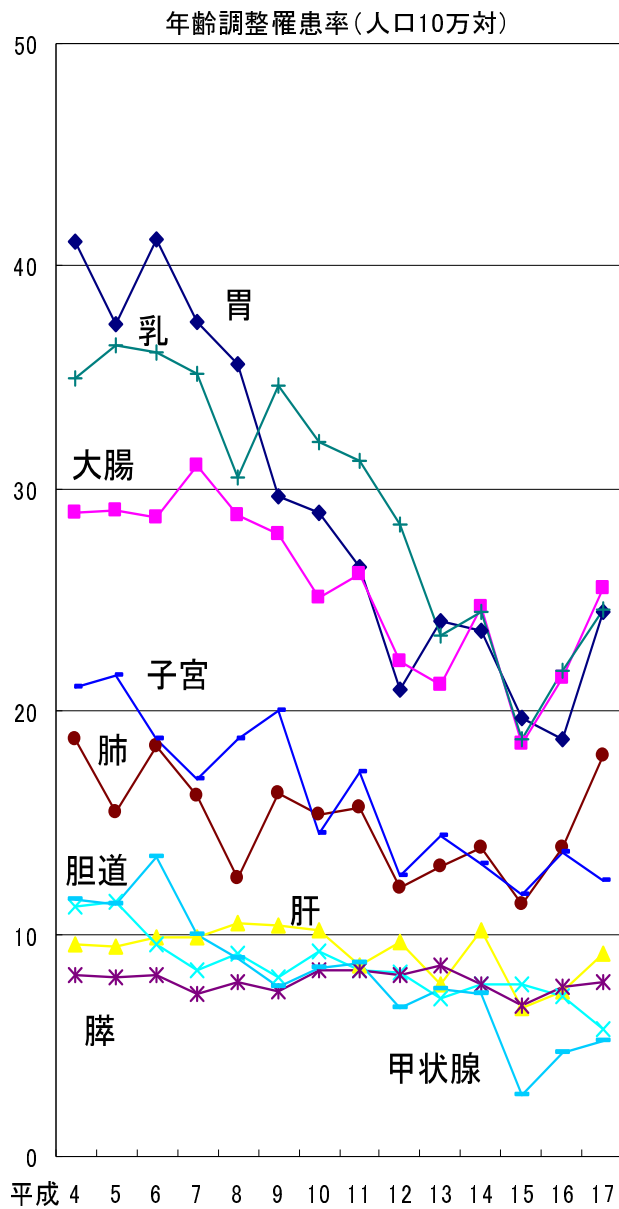
* 年齢調整罹患率の増加については、登録率が急激に増加したことによる影響の可能性が考えられるため、現在検討中です。

★ 年齢調整罹患率・年齢調整死亡率とは？

罹患数を全人口で割ったものが粗罹患率ですが、粗罹患率は、高齢者が多いと高い罹患率を示しやすいため、地域比較や経年比較をするには適当な指標とはいえません。

そこで、年齢構成を補正して計算したのが、年齢調整罹患率です。これは、がんのかかり易さを示す指標といえます。年齢調整死亡率も同様の考え方で、年齢構成を補正した死亡率のことをいいます。

年齢調整罹患率と年齢調整死亡率の推移(女)



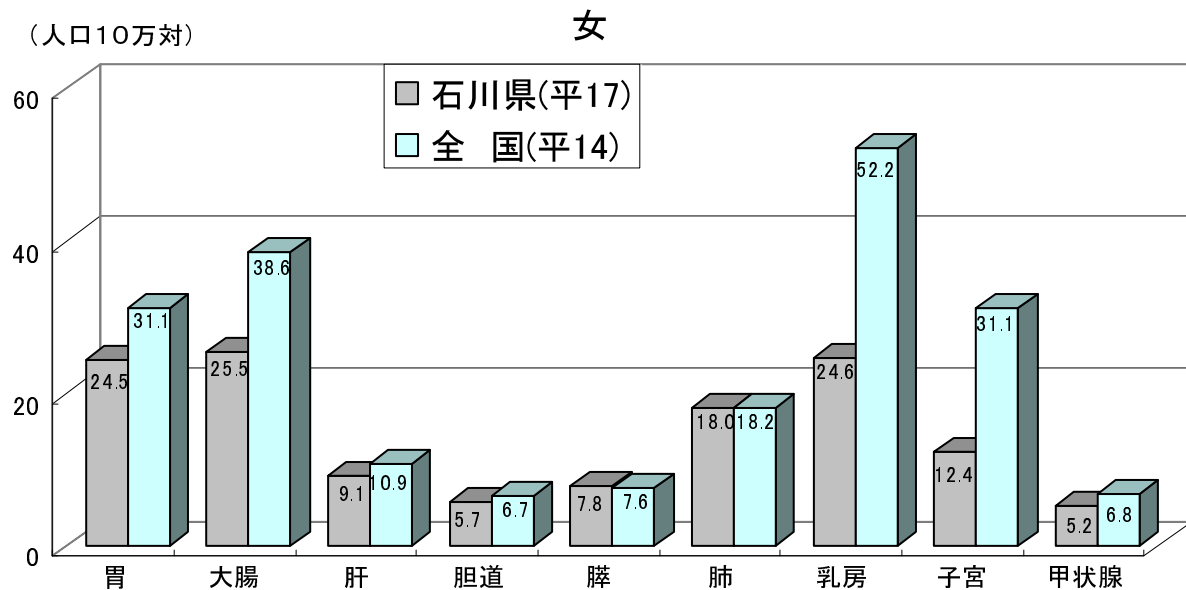
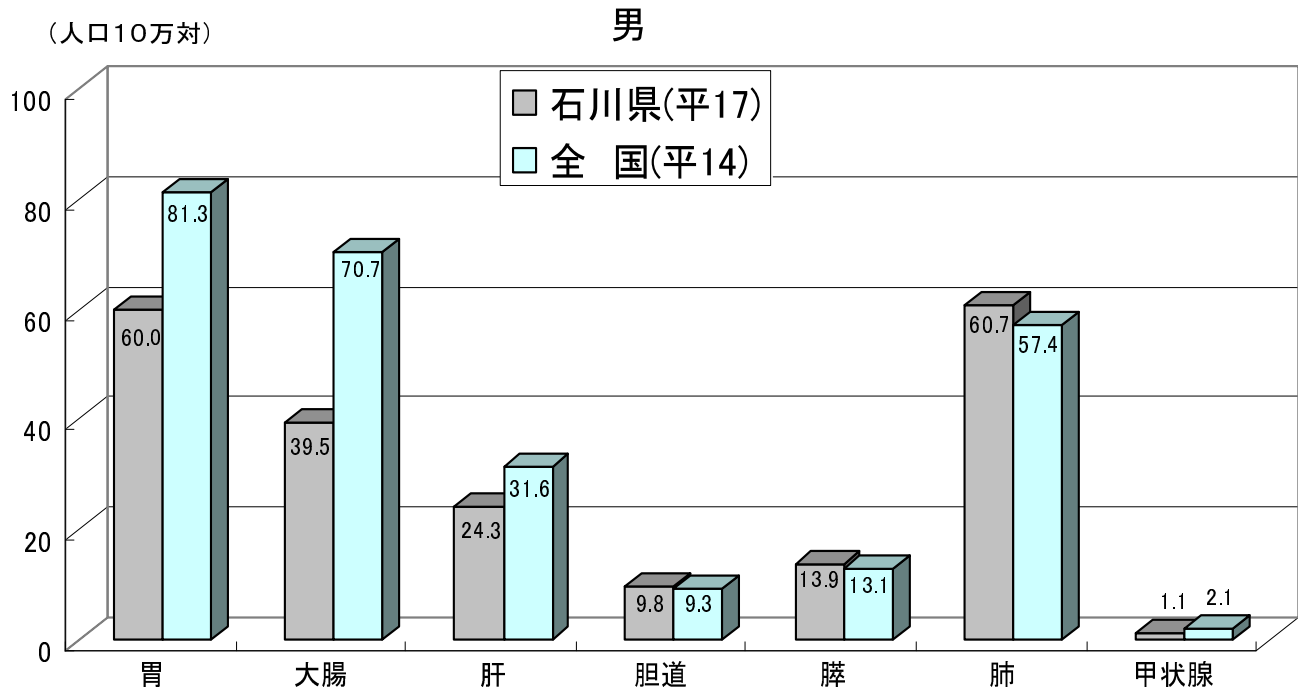
出典: 石川県におけるがん登録(平成17年標準集計・平成13年罹患患者生存率集計)

女性の年齢調整罹患率*は近年、胃がん、乳がん、大腸がんがほぼ同様の数字で推移しています。

年齢調整死亡率が最も高いがんは、胃がんであり、次に大腸がん、肺がんが続きます。

* 年齢調整罹患率の増加については、登録率が急激に増加したことによる影響の可能性が考えられるため、現在検討中です。

年齢調整罹患率の全国との比較



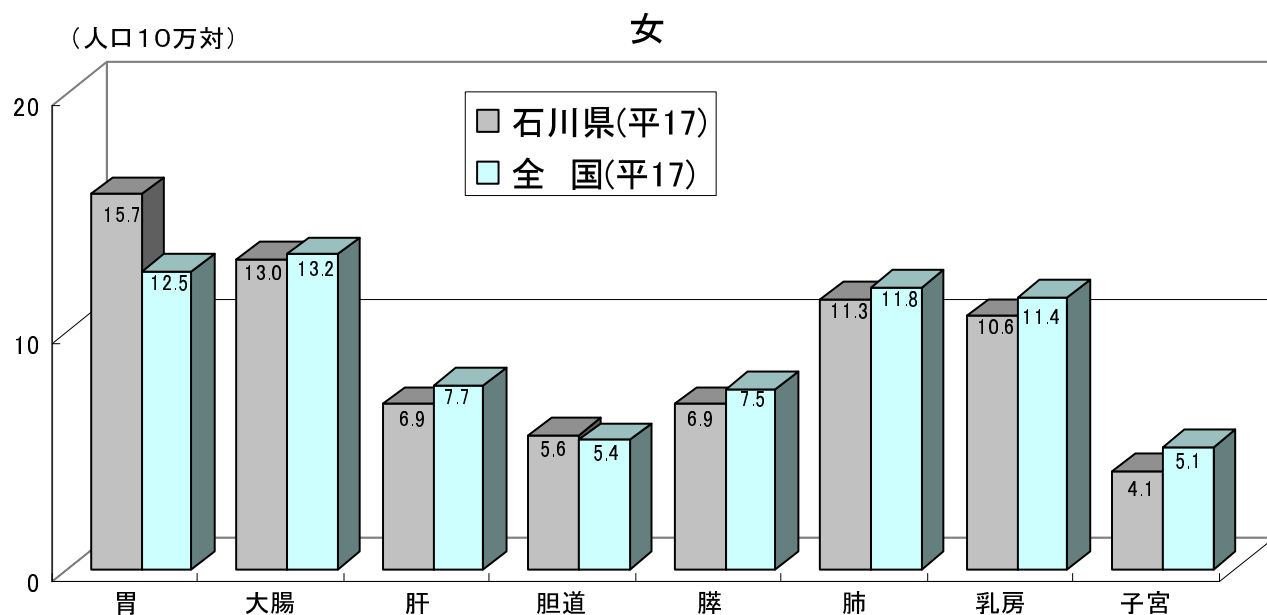
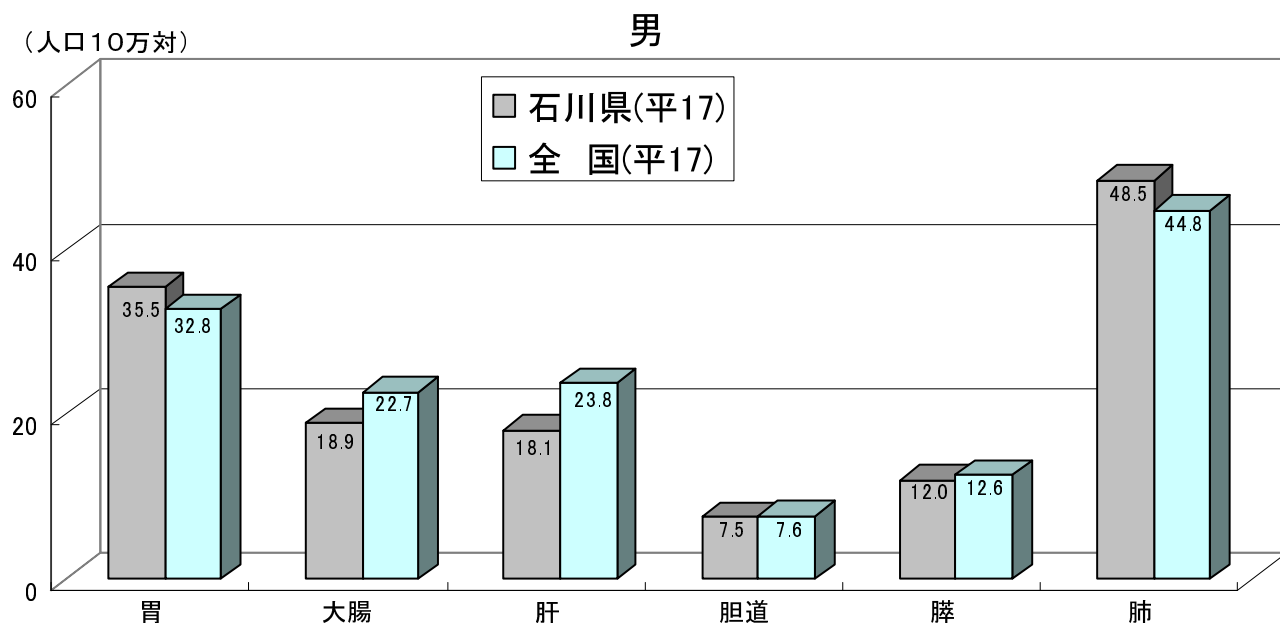
出典：石川県におけるがん登録(平成16年標準集計・平成12年罹患患者生存率集計)

**全国値と比べて男性の肺と膵で若干高くなっています。
女性では乳、子宮が低くなっています。**

男性は、全国では1位胃がん、2位大腸がん、3位肺がん、石川県では1位肺がん、2位胃がん、3位大腸がんです。

女性は、全国では1位乳がん、2位大腸がん、3位胃がん、子宮がん、石川県では1位大腸がん、2位乳がん、3位胃がんです。

年齢調整死亡率の全国との比較



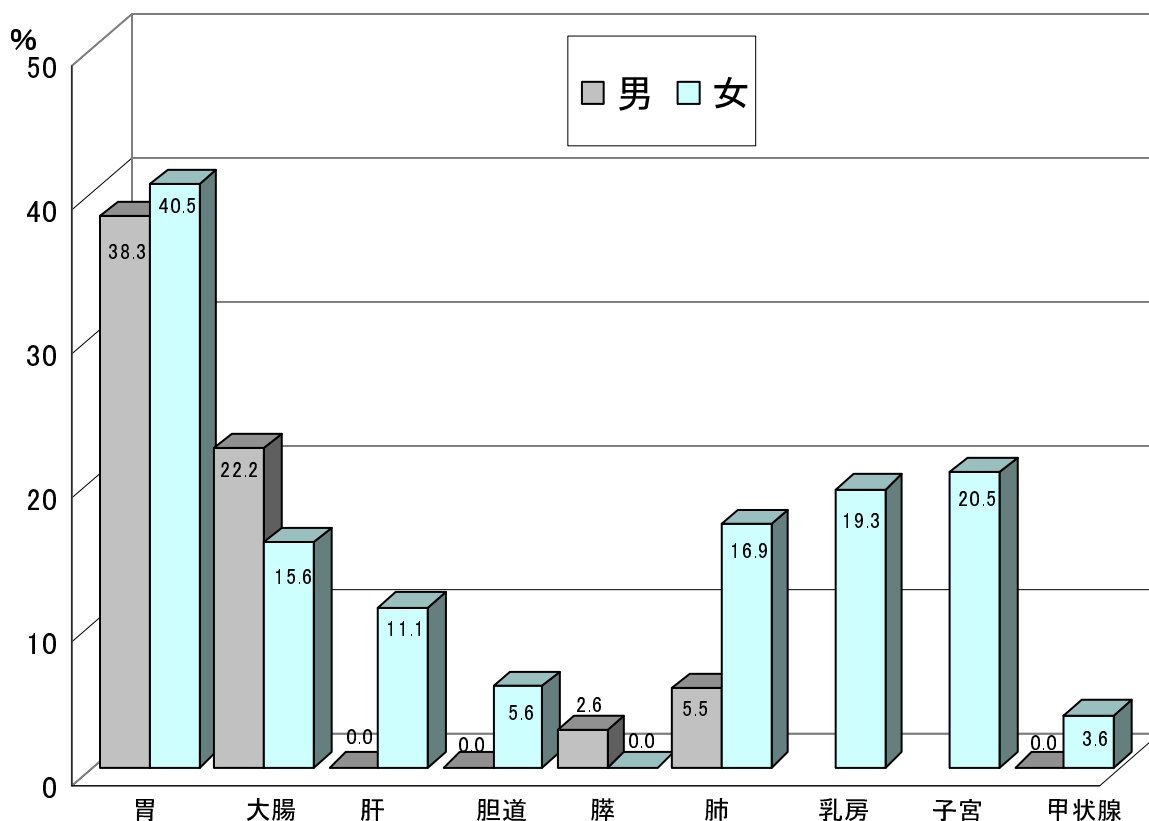
出典: 石川県におけるがん登録(平成17年標準集計・平成13年罹患者生存率集計)

年齢調整死亡率は、男性の胃がん、肺がん、女性の胃がんで全国より高くなっています。

男性は、全国は1位肺がん、2位胃がん、3位肝がん、石川県では1位肺がん、2位胃がん、3位大腸がんです。

女性は、全国は1位大腸がん、2位胃がん、3位肺がん、石川県では1位胃がん、2位大腸がん、3位肺がんです。

早期がんの割合



出典: 石川県におけるがん登録(平成17年標準集計・平成13年罹患者生存率集計)

早期のがんが見つかりやすいのは、胃がんです。

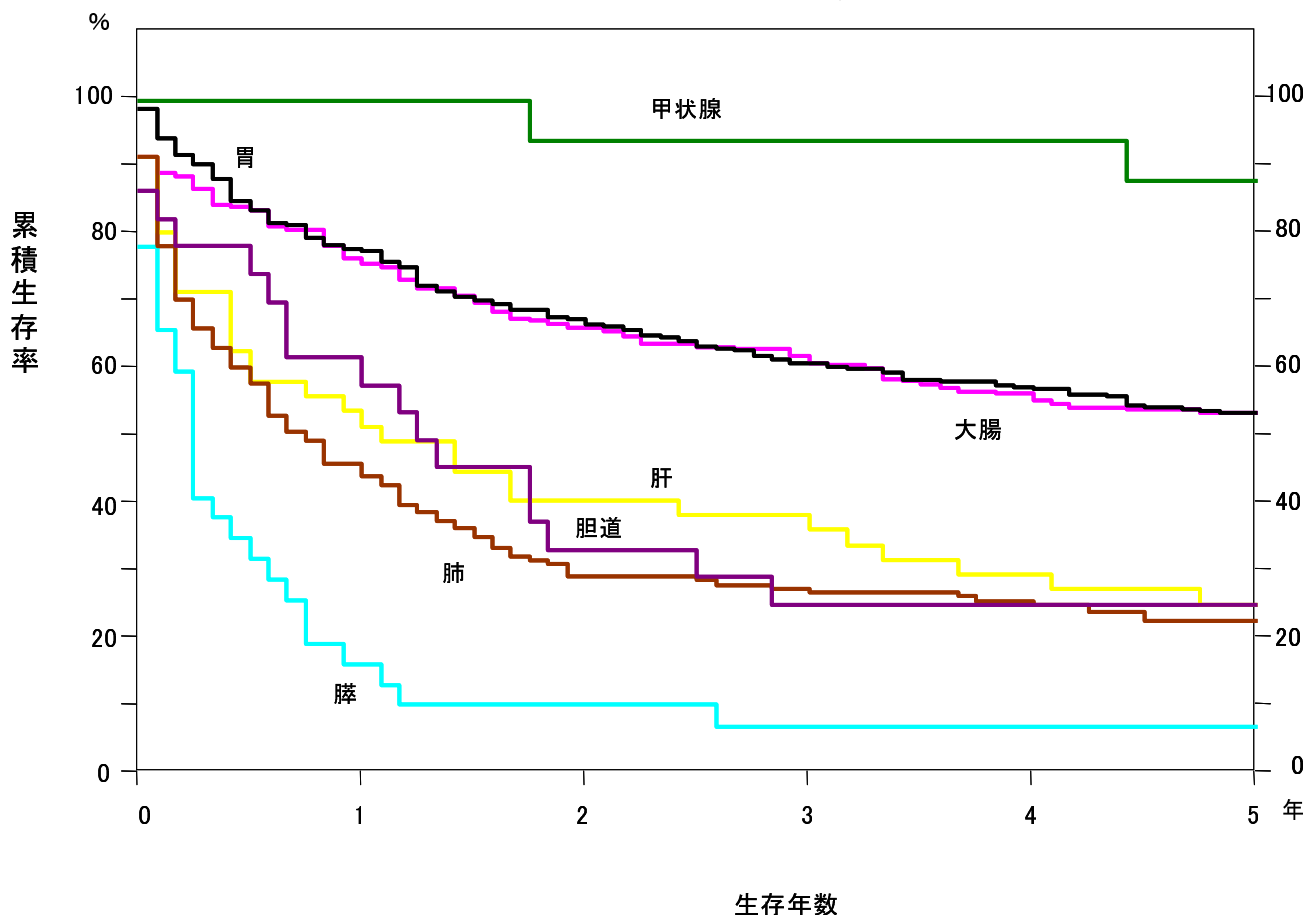
見つかったがんのうち、早期がん（進行していない早期の段階のがん）の占める割合を表したグラフです。

男性においては、胃がんで約38%、大腸がんで約22%です。肺がんや膵臓がん、肝がん、胆道がんは10%にも満たず、早期に見つけにくいがんであることがわかります。

女性においても、胃がんの早期がん割合が、約40%になっています。男性同様、膵臓がん、肝がん、胆道がんは早期に見つけにくいがんです。

5年生存率

部位別生存率曲線（男）



出典：石川県におけるがん登録(平成17年標準集計・平成13年罹患者生存率集計)

男性の甲状腺がん、大腸がん、胃がんは経過が比較的良好です。

5年目の生存率は甲状腺がんが一番高く、2番目は、胃がんと大腸がんがほぼ同じとなっています。

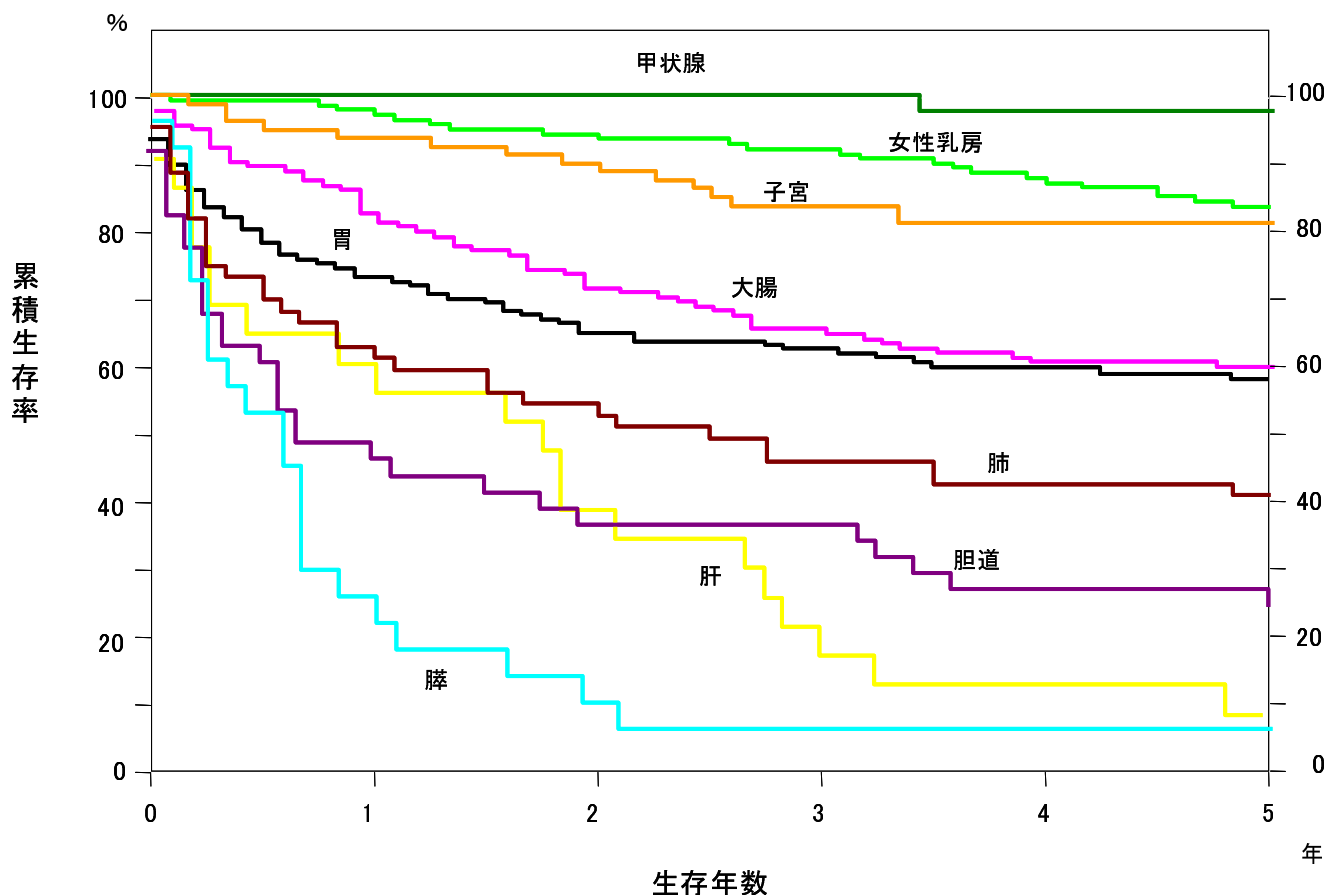
胃がん、大腸がんの5年生存率は50%を超えていますが、肝がん、胆道がん、肺がんは20%台、膵がんは10%以下と低くなっています。

★ 生存率曲線とは？

がんが、発見されてから5年間の生存状況を曲線に示したものです。がんを治療して5年生存できた人は、以後のがんの再発がほとんどなく、5年生存率は治癒率に相当するととらえられています。

5年生存率

部位別生存率曲線（女）



出典: 石川県におけるがん登録(平成17年標準集計・平成13年罹患者生存率集計)

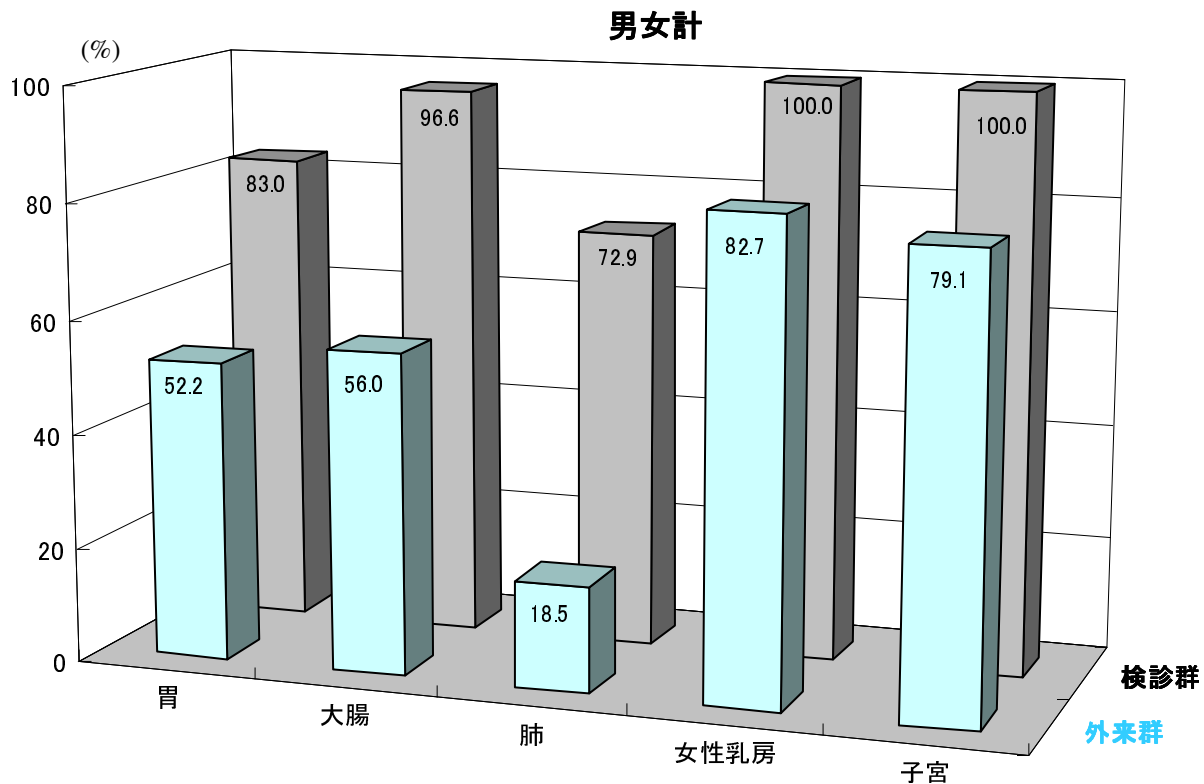
女性の甲状腺がん、乳がん、子宮がんは経過が比較的良好です。

5年目の生存率が高い順から、甲状腺がん、乳がん、子宮がん、大腸がん、胃がんとなっています。

甲状腺がんの5年生存率は90%以上と最も高くなっています。

乳がん、子宮がんの5年生存率は80%を越えており、大腸がん、胃がんも約60%ですが、肝がん、胆道がん、膵がんは、30%以下と低くなっています。

検診群と外来群別5年生存率



出典: 石川県におけるがん登録 (平成17年標準集計・平成13年罹患者生存率集計)

検診でがんが見つかった人は、外来で何らかの症状が出てから受診した人と比べ、高い生存率を示しています。

検診で発見されたがんと、検診以外(外来)で発見されたがんに分けて5年生存率を比較したグラフです。

いずれの部位においても、5年生存率は、検診群が外来群を上回っています。特に、検診で見つかった胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がんの場合は、80%以上が生存しています。

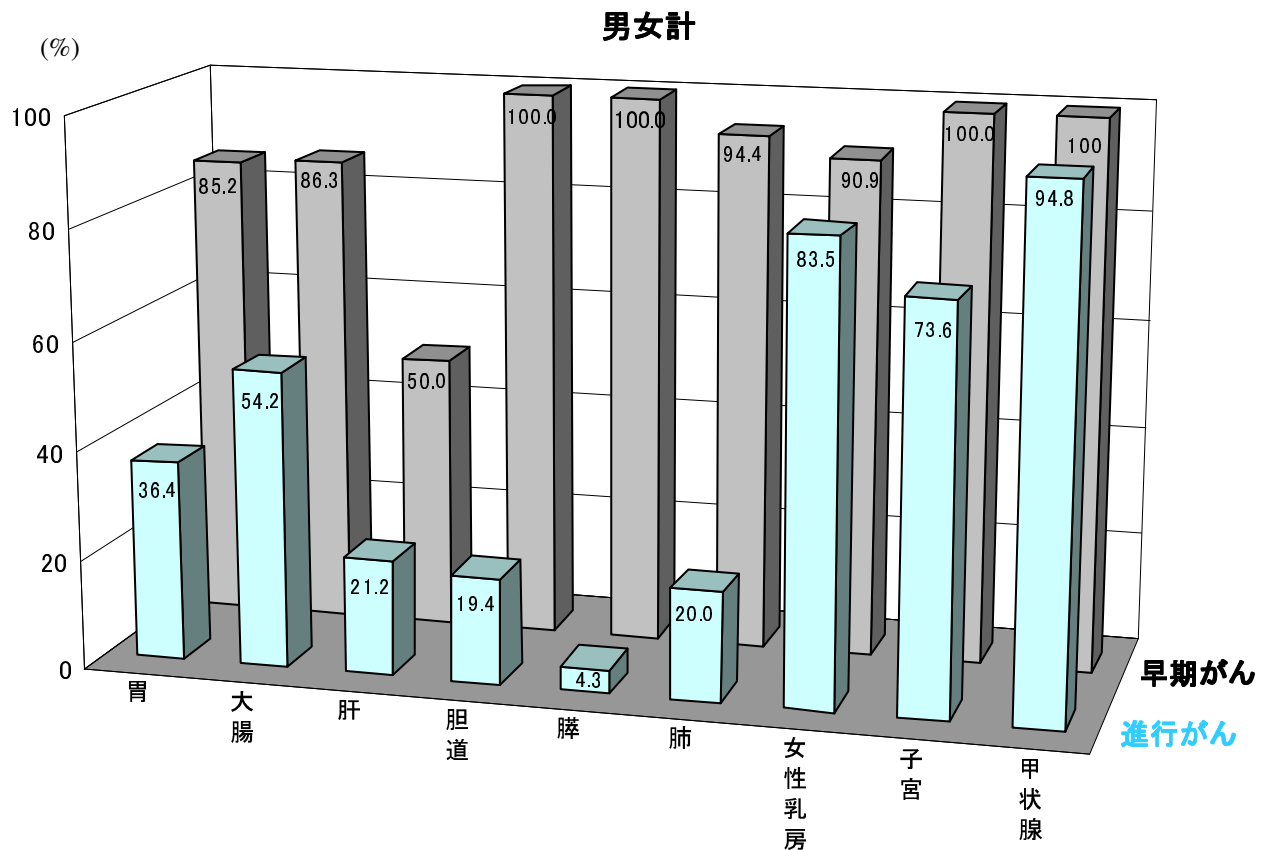
★ 検診群とは？

施設検診と集団検診、人間ドックを含む健康診断で発見されたがんのことをいいます。

★ 外来群とは？

自覚症状があり、診療所や病院の外来を直接受診して発見されたがんのことです。

進行度別の5年生存率



出典: 石川県におけるがん登録 (平成17年標準集計・平成13年罹患者生存率集計)

早期で見つければ、生存率は80%以上になります。

早期がんと進行がんに分けて、5年生存率を比較したグラフです。いずれの部位においても、早期がんの生存率が進行がんの生存率を大きく上回っています。

乳がん、子宮がん、甲状腺がんでは進行がんであっても生存率は高くなっており、予後がよくなっています。

肝臓がん、胆道がん、膵がん、肺がんは進行がんでの生存率は低くなっています。

平成17年度石川県がん情報管理事業における がん登録届出機関名及び届出数

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

地区	医療機関名	届出数
金 沢	うきた病院	5
	石川県済生会金沢病院	62
	石川県成人病予防センター	142
	石川県予防医学協会	206
	石川県立中央病院	91
	映寿会みらい病院	46
	大平胃腸科外科クリニック	6
	丘村クリニック	1
	おぎの胃腸科クリニック	49
	金沢医療センター	248
	金沢社会保険病院	81
	金沢市立病院	91
	金沢大学医学部附属病院	354
	金沢西病院	33
	斉藤内科倉西外科医院	1
	城北病院	2
	鈴木レディスホスピタル	3
	半田内科医院	7
	古川医院	2
	南ヶ丘病院	26
加 賀	板谷医院	12
	加賀市民病院	272
	蓮井医院	9
	山下医院	1
小 松	小松市民病院	4
	森田病院	7
	やわたメディカルセンター	1

地区	医療機関名	届出数
能 美	武田医院	2
	辰口芳珠記念病院	75
	能美市立病院	30
	柳瀬医院	1
白 山・ ののいち	大倉外科医院	4
	公立松任石川中央病院	157
	新村病院	12
	とみたクリニック	1
	野々市産婦人科医院	1
	松南病院	4
	安原医院	1
河 北	内灘温泉病院	2
	金沢医科大学病院	365
	二ツ屋病院	1
	山崎外科胃腸科医院	24
羽 咋	西村内科・胃腸科クリニック	3
七 尾	円山病院	6
	恵寿総合病院	84
能登北部	伊藤医院	8
	山岸医院	5
	市立輪島病院	81
	公立穴水総合病院	11
	升谷病院	14
	総 計	2,654

(参考:平成16年度届出数 2,112件)

<注> これは上記期間中に届出を受け付けた件数であるので平成17年度に診断したとしても、平成18年度中に届出がなされれば平成18年度分の報告となります。

このダイジェスト版は、「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会のがん登録委員会ワーキンググループ」の下記の先生方のご協力をいただいて作成したものです。

氏 名	職 名
中川 秀昭	金沢医科大学医学部教授（健康増進予防医学）
大平 政樹	石川県医師会理事
中村 幸志	金沢医科大学医学部講師（健康増進予防医学）
田畑 正司	石川県予防医学協会健康管理センター所長



石川県健康福祉部健康推進課

〒920-8580 金沢市鞍月1-1

電話 076-225-1448

FAX 076-225-1444

がん登録集計結果の詳細やがん登録資料の利用についてなど、石川県地域がん情報管理事業に関する情報は、下記のホームページからも入手できます。

<http://www.pref.ishikawa.jp/kenkou/gan-touroku/top.htm>